

少数台数のリコール届出の公表について (平成23年3月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年3月は16件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月1日	2718	車名：三菱 型式：DBA-GA3W 通称名：RVR	2	平成23年2月2日～ 平成23年2月2日
不具合の部位等	燃料ポンプにおいて、燃料ポンプの吐出ニップルと燃料チューブ継ぎ手部（クイックコネクタ）の組付作業が不適切なため、クイックコネクタが正規に嵌合していないものがある。そのため、クイックコネクタが当該ニップルから外れ、燃料が漏れるおそれがある。			

2. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月3日	2714	車名：日野 型式：LKG-SH1EDAG 他 通称名：日野プロフィア	77	平成22年7月6日～ 平成22年10月8日
不具合の部位等	トラクタの前まわり半径の諸元値を誤ったため、牽引されるトレーラによってはトラクタ側トレーラコントロールバルブとトレーラが干渉するものがある。そのため、トレーラ側ブレーキのエアが漏れ、最悪の場合、駐車ブレーキが作動し走行できなくなるおそれがある。			

3. 届出者：ボルボ・カーズ・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月7日	外1735	車名：ボルボ 型式：CBA-DB4204TXC 通称名：ボルボXC60	5	平成22年12月3日～ 平成22年12月3日
不具合の部位等	原動機樹脂製カムカバー内側のオイルセパレータバッフルにおいて、溶着不良のものがあり、当該溶着部よりエンジンオイルがオイルセパレータバッフル内に浸入してしまう場合がある。そのため、浸入したエンジンオイルがブローバイガスと共にシリンダー内に吸入されて燃焼し、排出ガス基準を満たさないおそれがある。			

4. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月8日	2720	車名：スズキ 型式：EBD-DA64V 他 通称名：エブリイ	14	平成22年12月18日～ 平成22年12月20日
不具合の部位等	アクセルケーブルの組付け工程において、作業者の組付け方法が不適切なため、アクセルケーブルが折れ曲がったものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ケーブルのインナケーブルが損傷し、最悪の場合、アクセルペダルを戻してもエンジン回転が下がらなくなるおそれがある。			

5. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月9日	2724	車名：コマツ 型式：SB-WA054 通称名：WA100M-3	3	平成18年5月10日～ 平成18年7月4日
不具合の部位等	後側フレームのヒンジ部と側板の溶接部において、溶接の溶け込み不良により強度が低下しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該溶接部に亀裂が発生し、フレームが破断するおそれがある。			

6. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月10日	2719	車名：三菱 型式：DBA-CV5W 他 通称名：デリカ	23	平成23年1月26日～ 平成23年1月28日
不具合の部位等	フロアパネルの構成部品であるプロペラシャフト固定用ブラケットのプレス製造工程において、プレス圧力を誤って設定したため、亀裂または部分的な板厚減少が発生しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると(1)四輪駆動車においては、プロペラシャフトの回転振動等により、当該ブラケットが破損し、走行不能となるおそれがある。(2)前輪駆動車においては、錆等が発生し、当該ブラケットの強度に影響を及ぼすおそれがある。			

7. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月10日	2722	車名：日野 型式：BDG-GX7JGWA 改 通称名：日野レンジャー	1	平成22年8月27日
不具合の部位等	中型消防自動車用原動機において、内部ギヤの洗浄が不適切なため、異物がギヤシャフトのブッシュに入り込んだものがある。そのため、消防用設備を駆動すると当該ブッシュが焼付くものがあり、最悪の場合、エンストし再始動不能になるおそれがある。			

8. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日	2725	車名：コマツ 型式：KDP-M250 他 通称名：FD35N 他	69	平成20年8月4日～ 平成22年7月1日
不具合の部位等	フロントアクスルにおいて、遊星歯車用軸に材質不良の部品を使用したため、耐久性が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該軸部が摩耗して遊星歯車が破損し、走行不能となるおそれがある。			

9. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月17日	2723	車名：日野 型式：BDG-FE7JJWA 改 他 通称名：日野レンジャー	35	平成15年6月17日～ 平成22年4月19日
不具合の部位等	重心が高い車両において、後軸エアサスペンションのスタビライザのアームの強度が不足しているため、ローリングを繰り返すと、当該アームに亀裂が発生する場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該アームが折損し、走行が不安定になるおそれがある。			

10. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月23日	外1738	車 名：キャデラック 型 式：ABA-T166C 通称名：SRX	13	平成22年 7月16日～ 平成22年11月 9日
不具合の部位等	パワーステアリングシステムにおいて、走行振動等によりフルードのリターンパイプがステアリングギヤボックス等に接触して擦れ、当該リターンパイプに亀裂が入りフルードが漏れる場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、パワーステアリング機能が失陥し操舵力が増大する恐れがある。			

11. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月23日	外1739	車 名：キャデラック 型 式：ABA-T166C 通称名：SRX	44	平成23年 2月 1日～ 平成23年 2月 1日
不具合の部位等	エアコンコントロールモジュールのプログラムが不適切なため、吹き出し口モードの切り替えができない場合がある。そのため、フロントデフロスターが機能せず、フロントガラスが曇り視認性を失う恐れがある。			

12. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月28日	2729	車 名：スズキ 型 式：CBA-TDA4W 通称名：エスクード	39	平成23年 2月10日～ 平成23年 3月 3日
不具合の部位等	自動式の前照灯照射方向調整装置付きのすれ違い用前照灯の光軸調整が不適切なため、前照灯の照射方向が保安基準に適合しないおそれがある。			

13. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月31日	2733	車 名：日野 型 式：PKG-RU1ESAA 他 通称名：日野セレガ	17	平成21年 6月26日～ 平成22年 7月30日
不具合の部位等	車両後部に寒冷地向け仕様のトイレを装備した大型観光バスにおいて、トイレ用水タンクの取付け作業が不適切なため、トイレ水凍結防止用ハーネスをタンク下部に挟み込んだものがある。そのため、当該ハーネスが損傷し、最悪の場合、短絡し室内天井板が発煙するおそれがある。			

14. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月31日	2734	車 名：いすゞ 型 式：PKG-RU1ESAJ 他 通称名：いすゞガーラ	15	平成21年 7月 8日～ 平成22年12月13日
不具合の部位等	車両後部に寒冷地向け仕様のトイレを装備した大型観光バスにおいて、トイレ用水タンクの取付け作業が不適切なため、トイレ水凍結防止用ハーネスをタンク下部に挟み込んだものがある。そのため、当該ハーネスが損傷し、最悪の場合、短絡し室内天井板が発煙するおそれがある。			

15. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月31日	2735	車名：いすゞ 型式：PKG-FRR90S2 通称名：フォワード	2	平成20年 9月25日～ 平成21年 1月15日
不具合の部位等		排気管を縦型に改造した車両において、排気管出口に取付けている雨水浸入防止バルブの固定方法が不適切なため、排気の圧力で当該バルブ固定金具が抜けてくることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該部品が落下するおそれがある。		

16. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月31日	2736	車名：いすゞ 型式：PKG-FSR90S2 通称名：フォワード	2	平成20年 5月18日～ 平成20年 5月18日
不具合の部位等		燃料タンク取付部において、燃料タンクサポートの強度が不足しているため、走行中の車両振動により、当該サポートに亀裂が入るものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、燃料タンクが脱落するおそれがある。		

【参考】平成23年3月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	23件	10件	13件
輸入車	7件	4件	3件
計	30件	14件	16件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 古川・松井 電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352・42354)
